

～気高・鹿野・青谷地域にお住まいのみなさまへ～

平成30年3月末に

ながおクリーンステーションを稼働停止します

.....可燃ごみの直接持込先が変わります.....

ながおクリーンステーションは、平成6年4月に稼働を開始して以来23年間にわたり、気高・鹿野・青谷地域の可燃ごみを処理してきましたが、近年は老朽化が著しく、施設の維持が困難な状況となってきたため、平成30年3月末に稼働停止（閉鎖）することになりました。

稼働停止後、可燃ごみを直接持込される場合は、鳥取市神谷清掃工場（鳥取市西今在家228）へ搬入していただくようお願いいたします。

気高・鹿野・青谷地域のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、ごみステーションに出された家庭ごみ（可燃ごみ）は、従来どおりの収集曜日に回収いたします。



1. ながおクリーンステーションの受入期限について

【直接持込の受入終了日時】 平成30年3月24日（土）12時に終了

※ リサイクル資源として受入れていた古紙類についても、上記以降は受入できません。
今後は、ごみステーション回収、地域の資源回収や市内の古紙回収業者などをご利用ください。

2. 神谷清掃工場への受入開始について

【受入開始日】 平成30年3月26日（月）8時30分～

施設名	ところ	電話番号	受入品目
神谷清掃工場	鳥取市西今在家228	0857-53-2612	焼却処理（可燃ごみ全般）

※ 受入時間 平日 8時30分～12時、13時～16時30分
土曜日 8時30分～12時、日・祝日・年末年始は休み

※ 可燃ごみの搬入手数料は、従来どおり「10kgごと120円」です。

3. その他、利用できる鳥取市の一般廃棄物処分業の許可施設

業者名	ところ	電話番号	受入品目（可燃ごみ系）
株白兎環境開発	鳥取市千代水4-40	0857-38-3020	焼却処理（生ごみ、木くず）

その他、木くず、草、剪定くずなどの一般廃棄物処分業の許可業者については、本市の「家庭ごみの分別と出し方ガイド」37ページをご覧ください。

【お問い合わせ先】 鳥取市役所生活環境課 TEL (0857) 20-3217
気高町総合支所市民福祉課 TEL (0857) 82-3170
鹿野町総合支所市民福祉課 TEL (0857) 84-2013
青谷町総合支所市民福祉課 TEL (0857) 85-0012

台風5号における情報伝達、避難行動等に関するアンケート

集計・まとめ

(平成29年9月25日)

鳥取市老人クラブ連合会 青谷町支部老人クラブ

- ☒ 台風5号 ⇒ 平成29年8月7日夕刻、鳥取市に再接近
- ① 勝部川が、避難判断水位を超えたため、鳥取市は、18時30分に紙屋以南の勝部地域、21時に田原谷～西町地域一帯の勝部川流域、合わせて550世帯1580人に「避難準備・高齢者避難開始」を発令
- ☒ アンケート ⇒ 10日起案、17日定例会長会に提案、実施、9月14日会長会回収締切り
- ☑ 対象クラブ ⇒ 勝部第一寿会、勝部第三寿会、鳴北楽友会、栄町寿栄大クラブ、吉川米寿会、西町寿会、及び、発令の対象地域外になった中郷地区、亀尻喜楽会、露谷寿昌クラブ、

回答数 8クラブ 178人

内 訳 住所地域			性 別		
勝部地区	中郷地区	青谷地区	男 性	女 性	無回答
48	96	34	80	89	9
27.0%	53.94%	19.1%	44.9%	50.0%	5.1%
年 齢					
60代	70代	80代	90歳以上	無回答	
37	90	39	6	6	
20.8%	50.6%	21.9%	3.3%	3.3%	

回答の内容

設問の5 → 「高齢者避難開始」が発令されましたが、あなたは避難をされましたか

避難をした 2 (1.6%) 避難しなかった 122 (96.8%) 無回答 2 (1.6%)

※ 避難した2名内訳 (70代2、男1、女1、指定された避難所に2、防災行政無線：屋内1、屋外1)

注) この設問は、亀尻喜楽会、露谷寿昌クラブを除いた集計

設問5の② → 避難しなかった理由

- ① 高齢者避難開始発令を知らなかった 18 (14.8%)
- ② 避難場所を知らなかった 8 (6.6%)
- ③ 一人だったり、遠かったり、行くのが不安だった 13 (10.7%)
- ④ 自宅でも大丈夫と考えた 88 (72.1%)
- ⑤ その他 11 (9.0%)

◆ 避難所に対する不安 (自宅より低地にある。自宅、団地の方が安全) ◆ 避難の必要はないと判断した ◆ 「高齢者避難開始」発令を知らなかった ◆ 「高齢者避難開始」の認識がなかった。
 ◆ 避難準備情報と思った。準備だけした ◆ 家族と一緒にの方が安心と思った ◆ 中郷まで夜中に行けないと判断した ◆ 仕事・勤務のため行けない ◆ 雨や風の中行くのは無理と考えた

設問の6 → 防災や避難情報は、主としてどのような方法で得られましたか

- | | | |
|-------------------|-----|-----------------------|
| ① 防災行政無線（屋外スピーカー） | 19 | (10.7%) |
| ② 防災行政無線（屋内受信機） | 8 | (4.5%) ←集落放送と勘違いのものも？ |
| ③ 市の広報車 | 10 | (5.6%) |
| ④ テレビ（NCN、ぴよんぴよん） | 29 | (16.3%) |
| ⑤ 電話、携帯電話 | 12 | (6.7%) |
| ⑥ ラジオ、一般テレビ | 125 | (70.2%) |
| ⑦ スマホ、インターネット | 4 | (2.2%) |
| ⑧ その他 | 9 | (5.1%) |

⊕ 集落放送 ⊕ 区長からの電話 ⊕ あんしんトリピーメール ⊕ 県外在住の家族からの連絡
⊕ 翌日の新聞で（台風5号の高齢者避難開始発令について）

設問の7 → 自分が避難する避難所、一時避難所の場所を知っているか or 知らないか？

- ① 知っている 138 (77.5%) ② 知らない 30 (16.9%) 無回答 10 (5.6%)

設問の8 → 自分が避難すると想定されている避難所について

- | | | |
|------------------|-----|---------|
| ① 安心していつでも行ける | 49 | (30.8%) |
| ② 不安があり、行くのに躊躇する | 110 | (69.2%) |

↓ (②の理由)

- | | | | | | |
|---------|----|---------|------------|----|---------|
| ① 場所が不安 | 41 | (37.3%) | ② 遠くて不安 | 28 | (25.5%) |
| ③ 途中が不安 | 41 | (37.3%) | ④ 一人ではいけない | 12 | (10.9%) |

設問の9 → 意見・要望等の自由記入欄への回答

(1) 情報伝達で、「明瞭な音声」が、伝わったかどうかに関する内容のもの

- ① 屋外防災無線スピーカーは聞こえない。役に立たない。窓を開けても、雨、風、川の音で何を言っているのか分からず、不安が増すばかり（アンケートに、屋外スピーカーの聞こえ具合の設問は設けていなかったが、「聞こえない」「役に立たない」の記述は、驚くほど多かった）
- ② 放送の内容が、何を言っているか分からず、川の水位を見に行き、「大丈夫」と自分で判断した
- ③ 防災行政無線で流した情報と同一の内容を、集落放送で再度伝える手立てを講じてほしい
- ④ 各戸とも、屋内用防災無線受信機に統一しなければ、聞こえないという問題は解消しない
- ⑤ 広報車の音声が聞き取れない。ボリュームや口調を調整してほしい
- ⑥ 屋外スピーカー、広報車とも外に出ないと聞こえない。何かが起こってからでは遅い
- ⑦ 避難情報は、自治会長を通じて住民に連絡できるような方策を希望する

※ アンケート回答外の事例 → ①台風5号 ②8月18日午前11時；ミサイル訓練 ③9月10日
午前10時；津波訓練 ⇒ ①②気配なし ③は音声内容が全く不明 ④於：大坪バス停

- 平常時であっても、屋外スピーカーは聞こえない。聞こえても言葉になると内容が分からなくなる。スピーカーからの距離、スピーカーの向き、反響、途中の遮蔽物、風向き、屋内等の条件により聞こえない。逆に、間近で、スピーカーを真正面に向けられた家は、毎日2回、騒音被害を受けている

(2) 情報伝達で、「音声の内容」が、住民の安心や行動に繋がったかどうかに関する内容のもの

- ① 「高齢者避難開始」発令という放送内容で、すぐ避難開始出来る高齢者は、まずいない現状にあると言える。「避難開始」の言葉だけでは、高齢者は動かないし、動けない状況下にある。
- ② 色々な状況にあわせて、伝え方や内容に綿密な計画を持ち、各事象に対応してほしい。
- ③ テレビで台風情報は刻々見ており、その中で、情報の内容がよく分らない防災無線が流れても、身近に大変なことが起こっているかもしれないと、不安ばかりが大きくなる。
- ④ 住民にどう伝わったか点検し、課題の把握、解決の方策等、市は発令後、速やかに検証を行う事が必要である。結果への対策と同時に、内容を公表し、住民の啓発に努めることも重要である。
- ⑤ 自分たちの居住地の危険度が知りたい

(3) 高齢者避難開始に関する内容のもの

- ① 夜間に電話で連絡をいただいたが、高齢者が単独で避難開始するのは不安が大きく困難である。
- ② 家族と一緒に暮らしていても仕事で不在となり、一人で避難しなければならない状態になる。一人での避難は無理であり、どう行動をしたらよいか分からない。教えてください！
- ③ 亀尻集落が避難対象地域指定で、対象外にされたことに理解できない
- ④ 「高齢者避難開始」の発令がいつ出されたのか分からない。テレビでは分からなかった
- ⑤ 高齢者は、家に籠もるしか術がないのだろうか

(4) 設置された避難所に関する内容のもの

- ① 勝部地区住民の避難所が中郷公民館であったが、高齢者の避難や誘導は、特に夜間においてはリスクが大きすぎる（「遠すぎる」「途中が不安」「徒歩で行けるところではない」「不慣れな場所」「利用したことも、足を運んだこともない施設である」）。市の示す「避難10ヶ条」に「避難は徒歩で」とある。夜、風雨の中、勝部川沿いの道路を中郷まで、高齢者（又は、引率者）が徒歩で避難する行動が、住民の安全・安心、命を守る行動とは、とても思えない。
- ② 避難所開設が出来ない地域と決められてしまえば、過疎に拍車をかけることになる。
- ③ 住民と相談し、避難所を設置すべきである。是非、勝部地区に設置してください。
- ④ 避難所に指定されている勝部地区公民館が、その役割や目的を果たせるよう体制を整えることは、緊急の課題である。避難用具・非常食等が、勝部地区公民館に常時備蓄されていても、鍵の管理をはじめ、それらを敏速に活用する人的体制が整っていない。これでは「絵に描いた餅」に過ぎなくなる。市役所本庁危機管理課や青谷総合支所の指導の下、自治会、「まちづくり協議会」、防災連絡協議会等、関係団体・組織、住民が協議、連携して、開設・運営の体制確立を図ることは、勝部地区住民全体にとって緊急の課題になっている。
- ⑤ 洪水の対象になっている勝部川を渡って避難する気にはなれない。
- ⑥ 川に砂や木、アシ、ヨシがいっぱい、洪水の心配がある。取り除いてほしい。一時避難所の公民館が川の側にあり、大雨の度に心配している。

ま と め

「聞き取れない防災行政無線屋外放送が、嵐の中、高齢者を川に行かせている」「高齢者避難開始が、伝わっていない」「情報内容が理解、認識されていない」「高齢者が、安心して避難行動出来る状況になっていない」「避難所について、様々な意見、要望、疑義が潜在している」等、多くの問題点・課題が浮かびあがっています。「このアンケートは、老人クラブではなく、市がすべきだ」の指摘や、「速やかな集計、その結果と分析の公表、及び、防災関係機関に対する提言・要望」を求めるものもあります。

意見から見える課題を以下の通りまとめ、その解決に向けた取り組みを関係機関に要望していきます。また、老人クラブとして取り組める活動を提案していきます。

〔 課 題 、 提 言 、 要 望 〕

◎印は、市、関係機関への要望事項

1、情報の伝達に関する課題

(1) 高齢者にも、よく聞こえる音声で、情報を住民みんなに伝えるための課題

屋外スピーカーが聞こえない、役に立たないという声は、圧倒的に多い

- ◎ 防災行政無線受信機は、各戸に屋内受信機を設置すること。
- ◎ デジタル化工事が未だの市内各地域に、青谷地域の実情を紹介すること。

(2) 高齢者でも「どうすればいいか」が、よく分かる内容にして、情報を住民に伝えるための課題

国が定めた基準に従い「勧告」「指示」等を文字通り・規則通り発令し放送を流されても、高齢者をはじめ住民すべてが、的確に判断し、速やかに避難開始等の対応が出来る状況には、なっていない。

- ◎ 発令は、青谷地域の今の諸状況（民意を含め）を勘案した上で、住民に「どう対応してほしいか」の思いがこめられた内容、住民を導こうという内容にした情報発信に努めること。
 - ◎ 発令の点検や事後検証は必ず実施し、結果は住民にも公表し、啓発活動を図ること。
- #### (3) 町内、集落、近隣等小地域毎における、住民への伝達・連絡体制を確立するための課題
- 集落放送や区長が個々の世帯に伝えている連絡が、住民一人ひとりへの身近な情報伝達で、大きな役割を果たしている。その要望も多い。
- ◎ 小地域内の効率的な伝達・連絡体制づくりに関する施策を講じ、指導を行うこと

2、避難所開設や運営に関する課題

(1) 高齢者でも躊躇する事なく、住民だれもが安心して向かえる避難所開設にするための課題

指定避難場所に対する対象住民の安心と納得は、敏速な避難行動の成否に関わる大切な鍵となっている。だれもが不安なく避難できる場所の選定・設置は、急務となっている。

- ◎ 住民の知恵、行政の「決まり」をあわせ、合意を得るために、各地域毎に協議の場を設けること
- #### (2) 一時避難所、指定緊急避難場所の開設や運営を円滑に進めるための課題
- 避難所開設や運営に関し、住民組織が参加する体制が不十分な現状にある。（一時避難所も含め）
- ◎ 自助、共助、公助について、各々の努力や善意、ボランティア精神が効率よく噛み合い、円滑で安心・安全な運営が行えるよう、住民や住民組織を含め、市が主導した、検討・協議の場を設けること

[以下の課題は、高齢者の避難が円滑に行われるようにするために、必要と思われる取組み]

3、各種防災に関する研修や訓練の実施に関する課題

(1) 小地域（町内、集落、地区等）毎の各種訓練実施を実現させるための課題

気象情報、防災・避難情報等を理解し、的確な行動を可能とするには、防災避難訓練が一番の早道と考えられる。自主防災組織等と連携、住民の研修会や各種訓練が必要となっている。

- ◎ 市や関係機関は、自治会、町づくり協議会等と連携し、研修や訓練実施に向けた施策を講ずること

(2) 各小地域、グループ毎に実施される防災避難訓練を、指導助言出来る体制を確立するための課題 小地域における研修や訓練は、その地元特有の状況に沿う内容が必要である。

- ◎ 市や関係機関は、総合的な指導を前提にしながらも、地域に指定されている災害危険区域への対応等、その地元が必要としている研修・訓練が実施出来るよう、指導助言者派遣の体制を整えること

4、住民や住民組織の取組みを、積極的にすすめるための課題

(1) 住民一人ひとりの防災意識の向上や、気象・防災情報に対する理解を深めるための課題

「鳥取市が発行、全戸配布の『総合防災マップ』を活用し、気象や防災情報を理解する」「地図でわが家を確認、『わが家の安全対策』を家族で相談、いつ防災情報が発せられても対応出来るように備え、その更新も忘れず続ける」等、住民一人ひとりの自発的な取組みが急がれる状況にあると言える。

- ◎ 市や関係機関は、これら住民の取組みを促し、広めるための施策や啓発活動に力を入れること

- ⊗ 老人クラブとして、研修活動や、会員への広報活動に取り組みます

(2) 自分たちが住む町や集落で、住民互いが防災意識を向上させ、対策の共有を確立させるための課題

各家の「安全対策」の交流・点検や、地域の各種災害指定「危険区域」に、過去の被災記憶を加え、備えや避難行動へ共通理解を深めるため、小地域単位や各組織で研修会や訓練等と、住民の自発的な取組みが必要となっている。地域や各団体のリーダーには、その取組みの中心的役割が期待される。

- ◎ 市や関係機関は、これらの取組みを奨励し、支援する施策を進めること

- ⊗ 老人クラブとして、研修会や各種訓練への協力、会員の参加呼びかけに取り組みます

(3) 災害発生時であっても、支えあい・助け合いでつながる近隣の仲間づくりを進めるための課題

道路の除雪、通学路の確保、清掃活動、総事等、日頃から「支え合い」の関係づくりに努め、どんな災害時であっても「声かけ」「助け合い」「避難所共同生活」等々の、共同行動が速やかに、和やかに出来る、近隣の仲間づくりを進める。

- ◎ 市や各関係機関は、これらの取組みを応援する施策を進めること

- ⊗ 老人クラブとして、会員相互の交流や親睦を深め、奉仕活動への積極的な取組み等、日常のつながりを強め、助けあう活動を進めます

(4) 高齢化の進行する青谷地域にあって、高齢者自身が自らを守るための課題

高齢者自身、災害時、住む地域で、身心の許す範囲で自分に果たせる役割や助け合い行為について整理確認し、日頃より自覚に努めながら、日々を過ごしていく。

また、災害時、自分に必要な支援や手助けの内容を確認し、声を上げて周囲に協力を依頼、支援や協力関係をつくりながら、日常のつながりを大切に、楽しく日々を過ごしていく。

- ◎ 市や関係機関は、避難行動要支援者支援制度の浸透を促進させ、又、運用や普及の妨げとなっている「登録制度」手続き（プライバシー保護が足枷）の見直し等、この制度の実効性を高めること

- ⊗ 老人クラブとして、支援を必要と感じている会員が声をあげやすくなる話し合いの機会をつくる等「支え愛」活動に積極的に取り組みます

台風5号における情報伝達、避難行動等に関するアンケート

鳥取市老連青谷町支部老人クラブ

台風5号では大変心配な状況となり、徹夜で警戒に当たる等お世話をいただいた皆さんに深く感謝いたします。勝部川が避難判断水位を超えたため、市は青谷地域の550世帯1580人に避難準備・高齢者避難開始情報を発令しました。高齢者に避難開始を呼びかけた今回の事態に、情報伝達や避難行動は、実際にはどうだったのか、課題はなかったのか等老人クラブとして検証が必要と考えます。自助・共助・公助がうまくかみ合っていたのか、今後の課題は何かを探るため、アンケートへのご協力を宜しくお願いいたします。

回答方法 [各設問の○数字、①②③・・・の該当する項に、✓印をご記入下さい]

- 1、年 齢 [①60代 ②70代 ③80代 ④90歳以上]
- 2、性 別 [①男性 ②女性]
- 3、住 所 [①勝部地区 ②中郷地区 ③青谷地区]
- 4、あなたが受信している防災行政無線は [①各戸別屋内受信機 ②各集落(町)毎の屋外受信機]
- 5、高齢者避難開始情報が発令されましたが、あなたは避難をされましたか
[①避難をした ②避難しなかった]
5の①の方へ [①指定された避難所に避難 ②それ以外の場所()に避難]
5の②の方へ 避難されなかった理由は
[①高齢者避難開始情報発令を知らなかった(後日、新聞等で知った場合も) ②避難所の場所を知らなかった ③一人だったり、遠かったり等、避難所まで行くのが不安だった ④自宅でも大丈夫だと考えた ⑤その他()]
- 6、今回の台風5号に関する防災や避難情報は、主としてどのような方法で得られましたか(複数回答可)
[①市が各集落に設置している屋外防災行政無線スピーカー ②市が設置している屋内防災行政無線受信機 ③市の広報車 ④ぴよんぴよんテレビ、NCNテレビ ⑤電話・携帯 ⑥ラジオ・一般テレビ ⑦スマホ、インターネット ⑧その他()]
- 7、市が指定している各地域に開設する、自分が避難する避難所・一時避難所について、その場所を
[①知っている ②知らない]
- 8、自分が避難すると想定されている避難所について
[①安心して、何時でも行ける ②不安があり、行くことに躊躇する]
⇒ ②と回答の方へ [①場所が不安 ②遠くて不安 ③途中が不安 ④一人では行けない]
- 9、今回の経験から、老人クラブの仲間等身近な者で出来ること、消防団等地元の方にお世話をお願いしたいこと、市や県に要望したいこと等を、自由にご記入下さい(裏面利用でも可)

ご協力ありがとうございました。

青谷町地域振興会議委員視察（案）

目的：青谷上寺地遺跡整備が平成31年度から開始される予定である。史跡整備の効果で、来町者が増加するものと考えるが、その効果は一時的なものであることも予想される。来町者の増加を長く持続させるためには、提供できるソフト事業が重要であるといわれており、遺跡整備と並行して住民参画を図り充実したソフト事業が提供できる体制を構築することが求められる。そこで、住民がソフト事業に参画している「むきばんだ史跡公園」を視察し、地域住民と史跡公園との関わりを学び、青谷町における住民参画機運の向上を模索する。

視察先：むきばんだ史跡公園

日時：平成29年11月 日（ ）

日程：	<u>午前10時30分～午後1時</u>	<u>移動・昼食</u>
	<u>午後1時～午後2時30分</u>	<u>史跡整備と地域との関わり（説明） 質疑</u>
	<u>午後2時30分～午後4時</u>	<u>むきばんだ史跡公園見学</u>
	<u>午後4時～午後4時20分</u>	<u>移動</u>

参加者：地域振興会議委員
支所職員

交通手段：公用バス（公用バスが無理な場合は公用車）

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきばんだ史跡公園→妻木晩田遺跡とは→妻木晩田遺跡の概要

ツイート

contents

? 妻木晩田遺跡とは

アクセス

体験!ムキバンダ


ボランティアガイド

イベントカレンダー

講座・イベント申込

ライブラリー

リンク集

むきばんだの
仲間たち 

 むきばんだ史跡公園
Facebook

妻木晩田遺跡の概要

もどる |

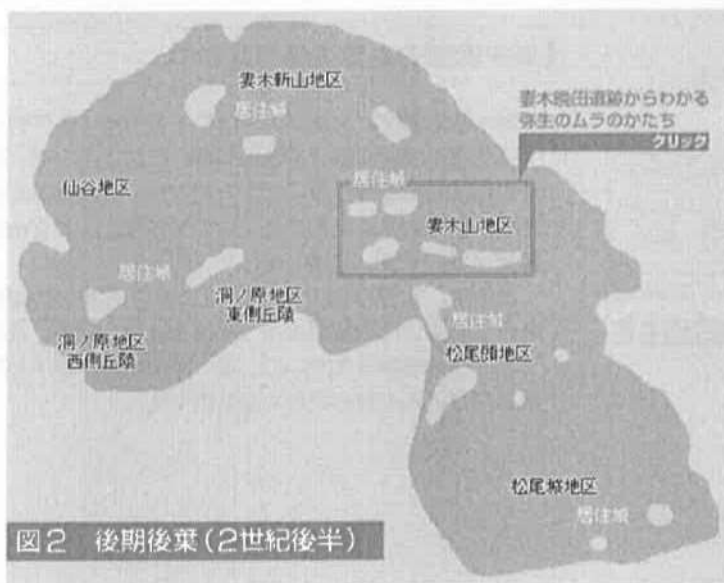
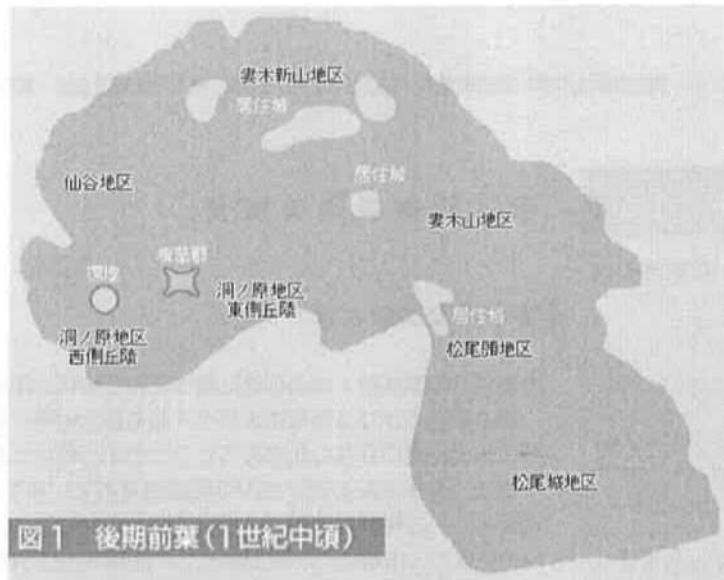
妻木晩田遺跡とは?

中国地方の最高峰・大山の麓に甦った弥生時代の国邑、それが妻木晩田遺跡です。遺跡のひろがりには鳥取県米子市・西伯郡大山町にまたがる晩田山丘陵全域におよび、弥生時代に大山山麓に存在したであろうクニの中心的大集落であったと考えられます。現在、全体のおよそ1/10が発掘調査されています。その結果、弥生時代中期末（西暦1世紀前半）～古墳時代前期（3世紀前半）にかけての、竪穴住居跡420棟以上、掘立柱建物跡500棟以上、山陰地方特有の形をした四隅突出型墳丘墓などの墳墓34基や、環壕など、山陰地方の弥生時代像に見直しをせまる貴重な資料がたくさん発見されました。

妻木晩田のムラの移り変わり

妻木晩田遺跡に人々が住みはじめるのは、弥生時代中期末頃（西暦1世紀前半）です。弥生時代後期初頭（1世紀中頃）になると、洞ノ原西側丘陵に環壕が掘られ、洞ノ原東側丘陵に四隅突出型墳丘墓（よすみとっしゅつがたふんきゅうぼ）がつくられます。このとき、妻木晩田遺跡に住んだ人々は、ここから東に700mほど離れた妻木新山地区、妻木山地区、松尾頭地区に住まいを構えました（図1）。

その後、ムラの人口が増えるにつれて住まいの範囲は広がっていき、妻木晩田遺跡が最盛期を迎える弥生時代後期後葉（2世紀後半）には、住まいの範囲が遺跡全体に広がります（図2）。この時期をさかいに、妻木晩田のムラは少しずつ衰えていき、古墳時代の初め頃には住まいがほとんど見られなくなるのです。



現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきぼんだ史跡公園→体験！ムキバンダ→はっくつ体験

ツイート

contents

？ 妻木晩田遺跡とは

🚗 アクセス

📍 体験！ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

📧 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきぼんだの
仲間たち 

 むきぼんだ史跡公園
Facebook

はっくつ体験

もどる |

「はっくつ体験」で遺跡を満喫しよう！

5月のゴールデンウィーク明けから11月まで、毎週日曜日と祝祭日。どなたでも気軽に参加できる「はっくつ体験」を開催しています。

「はっくつ体験」では、発掘現場を再現した「はっくつ体感広場」で、竪穴住居(たてあなじゅうさよ)の発掘を体験！

竪穴住居内に埋まっている土器や土製品などを掘り出します。

子どもも、大人も、発掘調査の気分を満喫できますよ！

※「はっくつ体験」の記念に出土品を一つをお持ち帰りいただけます。お気に入りを見つけてね！

【平成28年の開催日】5月15日から11月27日までの毎週日曜日と祝祭日午前11時から(約1時間)

【受付】予約は不要です。午前11時までに「弥生の館 むきぼんだ」受付前にお越しください。

*雨天の場合は中止します。実施状況は電話でお問い合わせください。



リクエストがあれば、竪穴住居の発掘の方法も学べます。



移植ゴテを使って、丁寧に掘り下げ中。



土器などがたくさん出土しました！

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきぼんだ史跡公園→体験！ムキバンダ→いつでも楽しめる！コーナー＆探索ゲーム

ツイート

contents

？ 妻木晩田遺跡とは

🚗 アクセス

🎯 体験！ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

✉ 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきぼんだの
仲間たち 

 むきぼんだ史跡公園
Facebook

いつでも楽しめる！コーナー＆探索ゲーム

もどる |

「弥生の館 むきぼんだ」の館内に、いつでもお楽しみいただけるコーナーと探索ゲームをご用意しています(いずれも無料です)。

メニュー	内容
<u>土器パズル</u>	遺跡から出土した土器の破片を接合する作業が体験できます。もちろん妻木晩田遺跡から出土した土器がモデルです。完成までの時間を競ってみませんか！
<u>貫頭衣 (かんとうい) の試着</u>	弥生時代の人たちが着ていたという貫頭衣。「弥生の館 むきぼんだ」館内で試着できます！弥生気分で記念撮影はいかがですか。
<u>むきぼんだを探せ！</u>	「弥生の館 むきぼんだ」の館内に潜む「むきぼんだ村」の名誉村民「むきぼんだ」を探す探索ゲームです。全ての「むきぼんだ」を探すと記念のシールがもらえるよ！

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきばんだ史跡公園→体験！ムキバンダ→休日は お気楽♪弥生気分！

ツイート

contents

？ 妻木晩田遺跡とは

🚗 アクセス

👤 体験！ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

📧 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきばんだの
仲間たち 

 むきばんだ史跡公園
Facebook

休日は お気楽♪弥生気分！

もどる

休日（土・日・祝祭日・夏休み期間）に楽しめる「お気楽♪」「弥生」体験。
事前予約は不要です。
弥生の村「むきばんだ史跡公園」で、弥生時代を身近に感じてみませんか！

【開催日】 土曜日、日曜日、祝祭日

*夏休み期間中は平日も実施しています（平成28年は7月16日から8月28日まで）

【受付時間】 午前10時から11時30分、午後1時から3時30分（予約は不要です）

体験メニュー

メニュー	料金 (材料代)	所要時間	内容
火おこし	無料	約30分	昔の人たちは、摩擦の力を利用して「火」をおこしていました。お気楽♪弥生気分！では、「まいぎり」という方法で、火おこしを体験します。
勾玉 づくり	石材 白(小) 350円 白(大) 450円 ピンク 500円 みどり 500円 黒 500円	約60分	弥生時代の人たちは、不思議な形をした「勾玉」を大事にしていました。お好みの石材で、自分だけの「勾玉」をつくってみませんか。
石包丁 づくり	石材 350円	約60分	弥生時代には、石包丁という道具でお米を収穫していました。お気楽♪弥生気分！では、加工しやすい石材を使用して、石包丁をつくれます。 *柔らかい石を使いますので、実際に収穫具としては使用できません。 *実際に使用したい方は、「休日おすすめの日替わり弥生体験！」の「本格！石包丁づくり」をおすすめします。
土笛 づくり	粘土 350円	約60分	弥生時代の人たちは土の笛で音色を奏でていました。粘土一つで3個の土笛が出来ます。 *乾燥させて、焼き上げるのに1ヶ月必要です。焼き上がりましたら、ご来園による手渡し、もしくは着払いにてお届けしますので、受け渡し方法をお選びください。
弥生の 鏡づくり	合金 800円	約45分	低い温度で融解する合金を鑄型に流し込み鏡を鑄造します。鏡面をピカピカに磨きあげると出来上がりです。
	無料	約20分	


メニュー	料金 (材料代)	所要時 間	内容
弥生の 絵葉書 づくり			色鉛筆やクレヨンを使ってぬり絵をしま す。 できあがったぬり絵を絵はがきにしてプレ ゼントします。

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきぼんだ史跡公園→体験！ムキバンダ→休日のおすすめ♪日替わり弥生体験！

ツイート

contents

-  妻木晩田遺跡とは
-  アクセス
-  体験！ムキバンダ
-  ボランティアガイド
-  イベントカレンダー
-  講座・イベント申込
-  ライブラリー
-  リンク集

むきぼんだの
仲間たち 

 むきぼんだ史跡公園
Facebook

休日のおすすめ♪日替わり弥生体験！

もどる！

休日（土・日・祝祭日）限定のこだわり弥生体験。

むきぼんだ史跡公園オリジナルの体験もあります。

事前予約は不要。メニューは日替わりです。毎月の予定をトップページにお知らせします。

[今月のメニュー](#) をご覧ください。

素材や技法にこだわったものづくり体験をお楽しみください！

【開催日】 土曜日、日曜日、祝祭日

【受付時間】 午前10時から11時30分、午後1時から3時30分（予約は不要です）

日替わりメニュー（随時、新メニューを追加します）

メニュー	料金 (材料代)	所要時間	内容
すくって すくって ループで 組紐！ (くみひも)	無料	約30分	弥生時代の人たちもつくっていた組紐で、カラフルなストラップをつくります。道具は不要。自分の指で紐を組み上げます！
クロモジ 楊枝 (ようじ)	無料	約30分	むきぼんだ史跡公園に自生するクロモジを使って、オリジナルの楊枝をつくります。簡単な木工体験です。香りもお楽しみに！
本格！ 石包丁 づくり	石材 300円	約60分	弥生時代の石包丁の素材の一つ「粘板岩」を使った本格的な石包丁をつくります。打ち欠いて、形を整え、刃を研ぎます！
クルクル まいて カゴ づくり	素材 300円	約60分 から 120分	弥生時代のカゴ編みの技法「コイリング」。 素材をクルクル巻いて、かわいいカゴをつくりましょう！ コースターもできますよ！ カゴ・・・約120分 コースター・・・約60分
銅鐸 づくり	合金 1600 円	約30分	低い温度で融解する合金を溶かして鑄型に流し込み銅鐸を鑄造します。かっこいい銅鐸が出来上がります！
土器づくり ハニワづくり	粘土 350円	約120 分	弥生気分で土器をつくってみませんか。古墳時代のハニワづくりもOKです。粘土による創作をお楽しみいただけます。 *乾燥させて、焼き上げるのに約1ヶ月必要です。焼き上がりましたら、ご来園による手渡し、もしくは着払いにてお届けしますので、受け渡し方法をお選びください。

期間限定！特別弥生体験メニュー（要予約・相談）

<p>機織り (はたおり)</p>	<p>無料</p>	<p>約1日</p>	<p>弥生時代の技法で織り物をします。 アクリル系を織って、小さな敷き布をつくります。 ＊期間限定、体験に時間がかかるため、 要予約・相談とします。 【実施期間】 <第1弾> 平成28年12月23日(木・祝) ～平成29年1月9日(月・祝) <第2弾> 平成29年3月25日(土)～4月2日(日)</p>
-----------------------	-----------	------------	---

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきばんだ史跡公園→ボランティアガイド

ツイート

contents

? 妻木晩田遺跡とは

🚶 アクセス

👤 体験!ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

📧 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきばんだの
仲間たち  むきばんだ史跡公園
Facebook

ボランティアガイド

もどる |

| 申込案内 (休館日をのぞく通年) ※要予約

ボランティアガイドによる遺跡の定時案内は11月末でお休みさせていただきます。
12月から3月末までの冬季期間中のガイド案内希望の場合には、予約が必要となります。

※予約は1週間前までにご連絡ください!

| 申込締切

希望日の一週間前

| 見学コース

- [むきばんだ1時間ショートコース](#)
- [むきばんだ1時間30分コース](#)
- [むきばんだ2時間欲張りロングコース](#)※内容は応相談

| 申込先

むきばんだ史跡公園 (TEL.0859-37-4000)



| 定時案内 (4月1日~11月末日まで) ※申込不要

| 平日

午後 1時30分から

| 土日祝日

午前10時30分から、午後1時30分から

| お申し込み方法

電話・FAX・インターネットより受付をしております!

【妻木晩田史跡公園】

電話 0859-37-4000

FAX 0859-37-4001

現在の位置：[ホーム](#)→[県の組織と仕事](#)→[教育委員会](#)→[むきばんだ史跡公園](#)→[むきばんだの仲間たち](#)→[むきばんだカゴづくりサークル](#)

ツイート

contents

❓ 妻木晩田遺跡とは

🚶 アクセス

👤 体験!ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

✉ 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきばんだの
仲間たち 

 むきばんだ史跡公園
Facebook

むきばんだカゴづくりサークル

もどる |



竪穴住居の中でカゴづくりを教える様子

団体紹介

設立趣旨

自然と仲良く、妻木晩田弥生人の暮らしの知恵を継ぐ、仲間づくりカゴづくり

活動開始

2009年(平成21年)5月

会員数

9名

会の活動

2008年度の「むきばんだカゴづくり講座」(講師：谷川栄子氏)を受講した仲間たちで自主的にカゴづくりサークルを結成しました。

カゴを編むことはもちろん、自然のツルを採ることも初めての私たちでしたので、まずカゴを編む材料となるツルの種類を実際に観察することから始めましたが、ほとんどの種類のツルがこのむきばんだ史跡公園にありましたので、ツル植物のマップの作成をしました。どうぞ皆さん、ツル植物マップをお手に取り参考になさってください。

私たちは、実用性のある物をめざして、決して奇ををてらうものではないよう心がけて、しかし気軽に楽しくカゴづくりをしています。

むきばんだのまつりでは、弥生のムラの竪穴住居の中でカゴづくりをしていますので遊びにいらしてください!

一緒にカゴづくりをしましょう!



・「カゴづくり、ツル植物マップ」のパンフレットはこちらから！PDF (1.51MB)

メッセージ

鳥取県内の遺跡では弥生時代のカゴが出土しています。

自然のツルで編んだカゴには誰もが心惹かれます。それはきっと弥生時代から現代までつながって今ここに私たちが生きているという証かもしれませんね。

月1回の例会には個人が近所の里山などから採集してきたツルを持ち寄り楽しくおしゃべりしながらカゴづくりをします。みんな最初は初めての人ばかり、お気軽に仲間になってください！希望の方は公園受付窓口まで。

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきばんだ史跡公園→むきばんだの仲間たち→むきばんだ応援団「むきばんだを歩く会」

ツイート

contents

？ 妻木晩田遺跡とは

🚗 アクセス

🗨️ 体験!ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

📧 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきばんだの
仲間たち 

 むきばんだ史跡公園
Facebook

むきばんだ応援団「むきばんだを歩く会」

もどる |



団体紹介

設立趣旨

妻木晩田遺跡のある妻木山・晩田山は、自然豊かな山であり、地域の皆さんの里山として利用されてきました。四季折々に変化する妻木晩田の自然の魅力をみんなで歩いてみつけてまわり、それを情報として発信することを目的としています。

活動開始

2005年(平成17年)～

会員数

35名

会の活動

鳥取県自然観察指導員の鷲見寛幸先生の指導の下、毎月1回2時間程度、遺跡周辺の植物の観察及び写真撮影を行い、毎月の観察結果を「花だより」として会員に配布するとともに、むきばんだ史跡公園内の施設に掲示しています。

主な活動内要は以下のとおりです。

・「むきばんだ花だより」はこちらからご覧ください！

(1)植物観察と写真撮影

これまで約250種の植物の観察と写真撮影をしています。年間を通して植物の変化をたどれるように、月毎の写真を揃える事を目標としています。

(2)植物マップの作成

- 平成20年9月に、洞ノ原地区で見える事の出来る植物71種を紹介し、携帯資料としての「植物マップ」を作成しました。
- 平成23年3月には、妻木新山地区の弥生の森遊歩道の完成に合わせて、樹木を中心とした「妻木新山地区の植物マップ」を作成しました。
- 植物マップは妻木晩田遺跡活用実行委員会のご協力で、無料で見学者に配布してご好評いただいています。

(3)樹木の名札の取付

洞ノ原地区及び妻木新山地区の弥生の森を中心に、樹木の名札を約100本程度取り付け、随時名札の追加・修理等を行っています。



樹木の名札づくりの様子

(4)妻木晩田遺跡の各行事への参加協力

春の新緑祭り、秋の秋麗祭りでは、弥生の森散策ツアーのガイドとして、また妻木晩田の植物を使用した草木染め体験に協力しています。



弥生の森散策ツアーガイドの様子

【メッセージ】

毎月第1週の土曜日9時30分～12時まで植物観察をしながら楽しく散策します。
入会料(初年度のみ)2,000円、「花だより」等の資料代として月300円で、誰でも入会できます。

現在の位置：ホーム→県の組織と仕事→教育委員会→むきばんだ史跡公園→むきばんだの仲間たち→むきばんだ土器づくりの会

ツイート

contents

？ 妻木晩田遺跡とは

🚗 アクセス

🗣️ 体験!ムキバンダ


👤 ボランティアガイド

📅 イベントカレンダー

✉️ 講座・イベント申込

📖 ライブラリー

🔗 リンク集

むきばんだの
仲間たち 

 むきばんだ史跡公園
Facebook

むきばんだ土器づくりの会

もどる |

団体紹介

設立趣旨

弥生土器の製作体験をとおして、先人の知恵を学び弥生時代を体感する。

活動開始

2004年(平成16年)～

会員数

7名

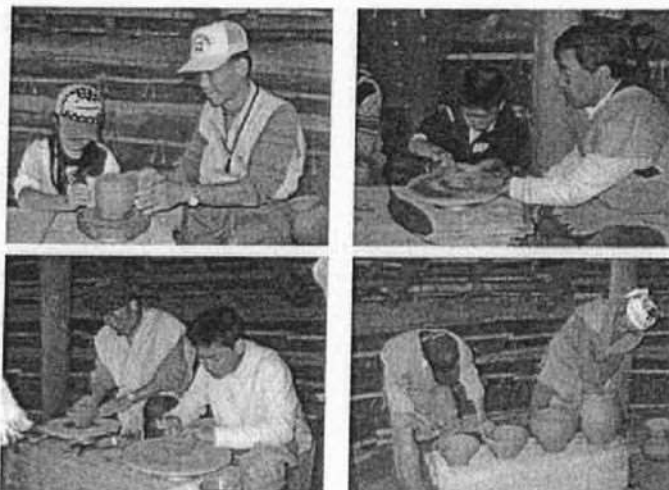
会の活動

1. 春になると土器製作用の土づくり(水簸)を始めます。むきばんだ遺跡の新緑祭り、秋麗祭りでは希望者に土器づくりの体験ができるコーナーを提供しています。
2. 「むきばんだ弥生講座、土器づくり初心者コース及び一般コース」での製作指導、並びに参加者の作品の野焼きによる焼成を行っています。
3. このほか、弥生の館むきばんだ体験学習室で、会員が月1回程度集まって、土器づくり等を行っています。

メッセージ

入会を希望される方は、いつでも公園の受付窓口までお問い合わせください。未経験の方でも歓迎です。

活動の様子



祭りでは竪穴住居内で土器作り体験の指導をします。



土器作り講座で作った作品を野焼きで焼き上げます。

平成30年度 地域振興会議視察（案）について

目的：青谷上寺地遺跡整備が平成31年度から開始される予定である。史跡整備の効果で、来町者が増加するものと考えが、その効果は一時的なものであることも予想される。来町者の増加を長く持続させるためには、提供できるソフト事業が重要であるといわれており、遺跡整備と並行して住民参画を図り充実したソフト事業が提供できる体制を構築することが求められる。そこで、住民がソフト事業に参画している兵庫県立考古博物館及び大中遺跡公園を視察し、地域住民と史跡公園との関わりを学び、青谷町における住民参画機運の向上を模索する。

視察先：兵庫県立考古博物館及び大中遺跡公園

日にち：未定

日 程： 青谷町総合支所 7時
兵庫県立考古博物館 10時～13時
青谷町総合支所 16時

参加者：地域振興会議委員
支所職員

交通手段：貸切マイクロバス



HOME > 博物館活動に参加しよう! -考古学博物館ボランティア情報-

▶ ひょうご考古学情報

- ひょうご考古学トピック
- 考古学情報バンク
- 兵庫県のおもな遺跡
- 館蔵品紹介

▶ 博物館の刊行物

▶ 埋蔵文化財保護の手引き

▶ スタッフブログ

考古学のホットな話題をお届けします

▶ 考古学であそぼう

楽しいゲームであそぼう!

▶ 博物館活動に参加しよう!

考古博物館ボランティア情報

▶ メールマガジン

兵庫県の考古学最新情報をお届けします

■ 発掘調査情報

発掘調査情報は、(公財)兵庫県まちづくり技術センターのHPをご覧ください。

▶ 博物館活動に参加しよう! -考古博物館ボランティア情報-

Let's try to participate in museum activity

ボランティア養成研修

考古博物館では、博物館で活動いただくボランティア(第16期生)を募集します。これまで300名以上の方がこの研修を終えられ、活動されています。みなさんの力を博物館活動に生かしてみませんか? 定員は40名(応募多数の場合は抽選となります) 応募締切は平成29年4月28日(金)必着です。申し込み用紙は→こちら

今年度の募集は終了しました。来年度も同様に募集する予定ですので、ぜひお申込みください。

【対象】

1. 博物館事業に興味・関心があり、活動できる方
2. 満18歳以上で健康な方(平成29年4月1日現在)
3. ボランティアに必要な研修を受講できる方(研修修了後にボランティア登録となります)
4. 月1回程度ボランティア活動ができる方

【内容】 研修内容は大きく2つに分かれています。

1. 講義 考古博物館でのボランティアの活動や考古学の基礎を楽しく学びます。
2. 実習 古代体験実習・ボランティア実習からなり、博物館活動の実務を体験します。

【研修実施期間】

平成29年度の養成研修は、平成29年5月21日～平成29年11月19日まで開催します。

<スケジュール>

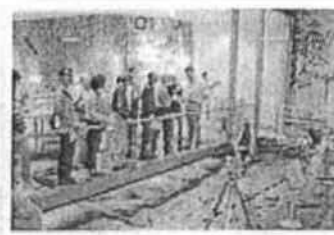
1. 講義 博物館ボランティアについて
考古博における「おもてなし」について
考古学入門 I
考古学入門 II
大中遺跡の歴史と特質ー遺跡解説のためにー
博物館の展示案内ー展示案内のためにー
2. 実習 古代体験実習1 勾玉をつくろう
古代体験実習2 ミニミニ石包丁づくり
古代体験実習3 古代の火おこし
古代体験実習4 ループで組紐
大中遺跡まつり

ボランティア実習(2回以上)
指定した古代体験講座等への参加(3回以上)

3. 発表 研修で考えたこと、今後の抱負

<活動概要>

学芸員から遺跡や展示の解説を受けるだけでなく、先輩ボランティアから体験学習の指導を受けたり、グループで共通の問題について考えて発表し合ったりもします。



[ページトップへ](#)

[お問い合わせ](#) [サイトマップ](#) [リンクリスト](#) [サイトポリシー](#)

兵庫県立考古博物館 〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1 TEL.079-437-5589



大中遺跡（弥生時代後期～古墳時代初頭の代表的な遺跡）

大中遺跡は、昭和37（1962）年6月、町内に住む3人の中学生によって発見され、昭和42（1967）年に国の史跡に指定されました。昭和47年から「播磨大中国古代の村」として整備され、今では憩いの場として親しまれています。

大中遺跡は、弥生時代後期（約1900年前）から古墳時代初頭（邪馬台国 卑弥呼と同時期）の代表的な遺跡で、長さ500m、幅180mで、約70,000平方メートルの広さがあります。

これまでに全体の20%の面積を調査し、73軒の竪穴住居跡が見つかっています。見つかった住居跡の数から考えると、遺跡内には少なくとも250軒くらいの住居が建てられていたようです。当時、貴重品だった中国製の鏡(内行花文鏡片)が出土しているので、播磨では有力なムラでした。

「播磨大中国古代の村」は、復元住居ばかりが目を引きますが、弥生時代に生えていた植物も復元されています。

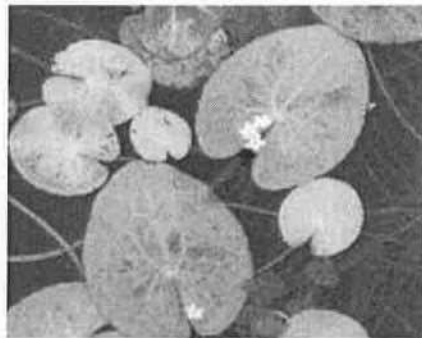


※ 大中遺跡の50年をまとめた年表は[こちらをクリック](#)すると見られます。

オポナカムラ（播磨大中国古代の村）の四季



八重桜(4月下旬) 資料館前



狐狸ヶ池のカガブタ(7月)



紅葉(11月下旬) であいのみち



さざんか(1月)



梅(2月)

水道料金改定に関する市民説明会について

鳥取市水道局

本市の水道料金は平成 23 年の改定以降、現在の体系を維持してきました。

しかし近年、水道事業経営を取り巻く環境は、全国的には人口減少、節水器具の普及、生活用水としての使用形態の変化などにより、加えて本市においては、企業再編などによる影響で水需要（水道料金収入）の減少が続いています。

災害対策や高度成長期以降に整備した施設の老朽化に伴う更新を着実にを行い、将来にわたって、安全・安心な水道水をお届けするための事業費用の確保に水道料金の見直しが必要となってきました。

このような状況を受け、平成 30 年 4 月（6 月計量、7 月請求分）から平均 18.4% 値上げする料金改定を行います。料金改定に至る経緯と改定の内容をお知らせするとともに、水道事業についての理解を深めてもらうことを目的として、次のとおり市民説明会を開催します。お知らせします。

●市民説明会 開催日時・場所

月 日	時 間	場 所	中学校区
平成 29 年 11月15日(水)	19:00～20:00	①面影地区公民館（桜谷）	桜ヶ丘
		②青谷町総合支所（青谷町青谷）	青谷
11月17日(金)	"	①宮下地区公民館（国府町宮下）	国府
		②高草人権福祉センター（古海）	高草
11月20日(月)	"	①富桑地区公民館（行徳三丁目）	西
		②湖南地区公民館（吉岡温泉町）	湖南
11月22日(水)	"	①美穂地区公民館（朝月）	江山
		②岩倉地区公民館（立川町六丁目）	東
11月24日(金)	"	①福祉文化会館（西町二丁目）	北
		②美保南地区公民館（叶）	南
11月27日(月)	"	①浜坂地区公民館（浜坂四丁目）	中ノ郷
		②湖山西地区公民館（湖山町西一丁目）	湖東
11月29日(水)	"	①河原町コミュニティセンター （河原町渡一木）	河原

○旧簡易水道事業の給水区域を除く中学校区単位で開催します。（全13会場）

○地区単位や町内会単位などの要望に応じて出前説明会を実施します。（全給水区域）

○旧簡易水道事業の給水区域の水道料金は、平成32年4月から改定後の料金に統一します。今回の料金改定については、地域振興会議（福部、用瀬、佐治、気高、鹿野）において説明します。

連絡先：鳥取市水道局経営企画課

電話：(0857) 53-7952

料 金 改 定 の 内 容

- ① 平均 18.4%の料金改定を行います。
- ② 水需要の増減による料金収入への影響を抑えるため、水道料金に占める基本料金の割合を増加します。
- ③ 平成 30 年 4 月以降に使用した水量(6 月計量、7 月請求分)から適用します。

●水道料金改定までの経緯

- ① 平成 28 年 4 月 15 日 水道事業審議会*へ諮問 ～6 回にわたって審議～
- ② 平成 29 年 7 月 19 日 水道事業審議会から答申
- ③ 平成 29 年 9 月 22 日 定例市議会で水道料金改定のための条例案可決

*水道事業審議会:水道事業の重要な事項について調査や審議を行う市長の諮問機関

●水道料金表(1月につき)

()内は現行料金

メーターの口径	基本料金	従量料金 使用水量				
		10m ³ までの分	10m ³ を超え 20m ³ までの分	20m ³ を超え 40m ³ までの分	40m ³ を超え 200m ³ までの分	200m ³ を超える分
		1m ³ につき 52円 (46円)	1m ³ につき 104円 (100円)	1m ³ につき 139円 (134円)	1m ³ につき 166円 (161円)	1m ³ につき 202円 (200円)
13mm	840円 (460円)					
20mm	1,950円 (1,250円)					
25mm	3,160円 (2,120円)					
40mm	9,400円 (6,500円)					
50mm	16,700円 (11,200円)					
75mm	43,900円 (30,400円)					
100mm	88,000円 (62,000円)					
150mm	240,000円 (170,000円)					
200mm	400,000円 (350,000円)					

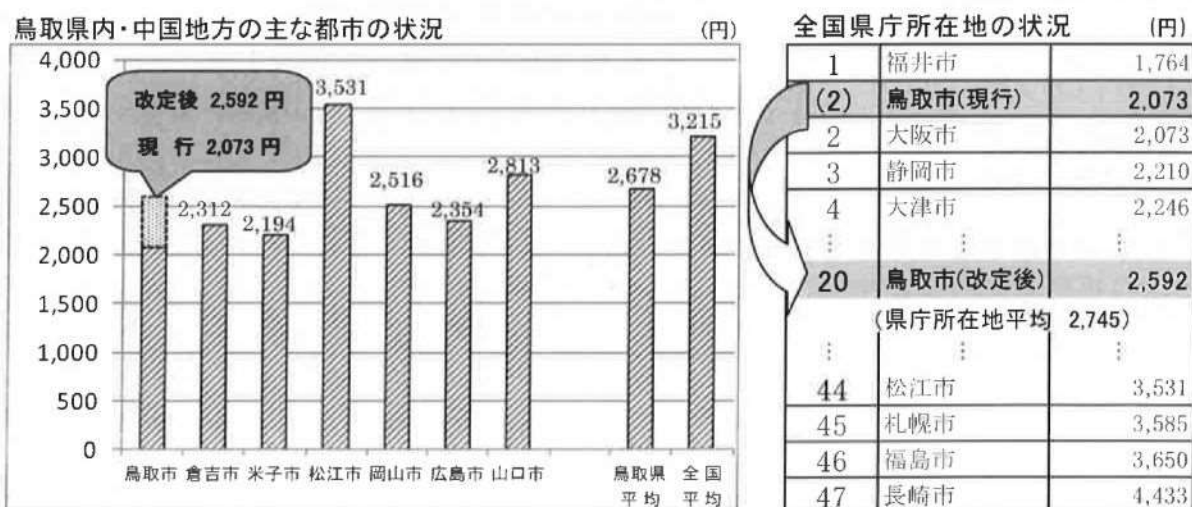
水道料金は、基本料金と従量料金の合計額に100分の108を乗じて得た額(1円未満の端数は切捨て)となります。

【計算例】メーター口径13mmで1か月に20m³使用した場合の水道料金

$$\left[\text{基本料金 } 840\text{円} + \text{従量料金 } \{ (52\text{円} \times 10\text{m}^3) + (104\text{円} \times 10\text{m}^3) \} \right] \times 1.08 = 2,592\text{円}$$

旧簡易水道事業の給水区域の水道料金は、平成 32 年 4 月から改定後の料金に統一します。今回の料金改定については、地域振興会議(福部、用瀬、佐治、気高、鹿野)において説明します。

●家事用[一般用]・メーター口径13mmで1か月に20m³使用した場合の料金比較(税込み)



出典:「水道料金表」(平成28年4月1日現在) 公益社団法人日本水道協会

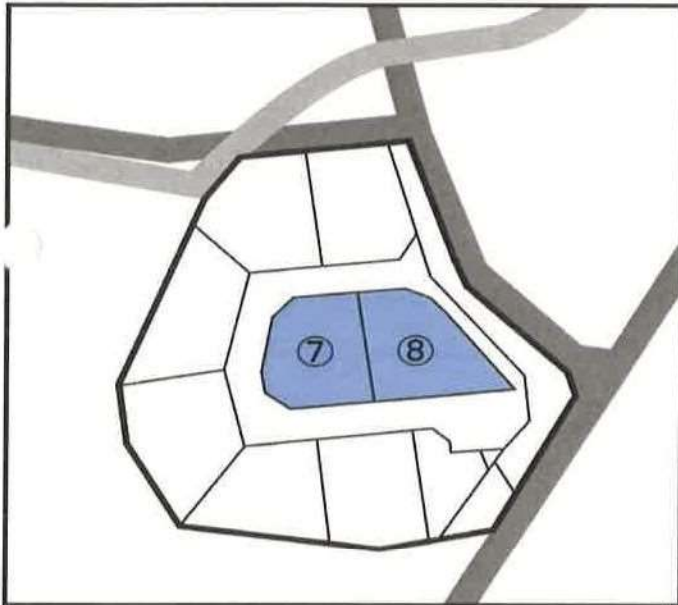
改定の内容は、11月に「水道局ホームページ」と「水道局だより11月号」で詳しくお知らせします。

詳しくはホームページをご覧ください

平成29年11月1日より分譲受付開始

青谷西町団地

分譲区画図



概要

- 所在 / 鳥取市青谷町青谷字向瀬崎他
- 道路 / 団地内区画道路 幅員6.0m
- 学校 / 市立青谷小学校・市立青谷中学校
- 交通 / JR青谷駅から徒歩約7分
- 法律上の制限 / 都市計画区域内
〔建ぺい率70%・容積率400%〕

販売区画 7区画

5,511,900円

- 土地面積 / 334.06㎡〔101.05坪〕
- 土地価格 / 1㎡16,500円〔坪54,545円〕
- 鳥取市上水道負担金 / 42,120円
- 公共下水道負担金 / 280,000円

販売区画 8区画

5,650,800円

- 土地面積 / 348.82㎡〔105.51坪〕
- 土地価格 / 1㎡16,200円〔坪53,553円〕
- 鳥取市上水道負担金 / 42,120円
- 公共下水道負担金 / 280,000円

アクセス



鳥取西道路

青谷I.C~鳥取西I.C間 平成30年内供用供開始!

青谷I.Cから車で約5分

お問い合わせ先

鳥取市土地開発公社

〒680-0022 鳥取市西町二丁目311番地

TEL 0857-22-4742 FAX 0857-21-8074

✉ tott11@tottori-kk.or.jp HP <http://tottori-kk.or.jp>



青谷高等学校活性化を支援する会の設立について

1 組織名

青谷高等学校活性化を支援する会

2 設立経過

「鳥取県立青谷高等学校の存続」は、青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の今後の活性化に不可欠との認識から、「青谷高等学校のあり方を考える協議会」を平成26年12月に立ち上げ、関係機関への要望活動や先進地視察等に取り組んできた。

平成28年3月に「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」が公表され、平成31年度以降の生徒数の減少への対応については、分校化や再編等ではなく、「原則として学級減で対応する」とともに、「特色ある取り組みを推進する学校の存続に最大限努力する」とこととされたところである。

このことにより「青谷高等学校のあり方を考える協議会」は、一定の役割を終えたものとして平成29年1月に解散した。

このたび、青谷高校の特色ある取り組みの支援を地域として行うため、この協議会に代わる新たな組織として「青谷高等学校活性化を支援する会」を立ち上げる。

3 目的

青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の今後の活性化の観点からも青谷高校は必要不可欠な地域資源であると認識し、青谷高校の特色ある教育活動や、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を支援することで、青谷高校の活性化に繋げる。

4 事業

- (1) 青谷高校の特色ある教育活動を支援する。
- (2) 地域課題の解決に向けて、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を行う。

5 組織

(1) 青谷高等学校活性化を支援する会（全体会）

構成員：委員約12名（地域住民、行政関係者、青谷高校関係者 など）

(2) 専門部会

事業を実施するため、専門部会を置く。

① 地域連携部会

構成員：部会員約7名（和紙関係者、農林漁業者、マリンスポーツ関係者、地域づくりグループ など）

活動例：

- ・「青谷学」等、地域資源、人材を活かした青谷高校の教育活動への支援
- ・保育所、学校との連携活動への支援
- ・地域イベント等への青谷高校生の参画、ボランティア活動の推進協力 等

② 卓球部会

構成員：部会員約7名（卓球関係者、スポーツ関係者、地域住民 など）

活動例：

- ・「卓球のまち 青谷」復活のための活動
- ・青谷高校の伝統である卓球を活用した取り組み 等

青谷高等学校活性化を支援する会 委員名簿

	役職名	氏 名	備 考	付 記
1	会 長	前田 哲雄	前青谷中学校校長	
2	副会長	高橋 克己	青谷地域振興会議会長	発起人 卓球部会
3	副会長	長谷川和郎	青谷地域振興会議委員	発起人 地域連携部会
4	委 員	河根 裕二	あおや郷土館兼青谷上寺地遺跡展示館館長	地域連携部会
5	委 員	井上耕之介	写真家、あおやよーいドン！まちづくりの会代表	地域連携部会
6	委 員	濱江 和恵	青谷地域振興会議委員	卓球部会
7	委 員	大谷 拓	青谷地区まちづくり協議会健康体育部会長	卓球部会
8	委 員	前田 孝行	青谷町自治連合会会長	
9	委 員	小川 勝	青谷高等学校校長	
10	委 員	山本 誠	青谷町総合支所支所長	発起人
11	委 員	武田 敏男	気高町総合支所支所長	
12	委 員	徳岡 義広	鹿野町総合支所支所長	
13	顧 問	倉恒 俊一	青谷高等学校同窓会会長	

事務局	清水 富和	青谷町総合支所副支所長兼地域振興課課長
	松原 雅彦	青谷町総合支所地域振興課課長補佐

青谷高等学校活性化を支援する会 地域連携部会名簿

	氏 名	備 考	付 記
1	河根 裕二	あおや郷土館兼青谷上寺地遺跡展示館館長	委 員
2	長谷川英二	和紙製造業	
3	長谷川和郎	青谷地域振興会議委員	委 員
4	道下 励一	(一財) 鳥取市農業公社	
5	井上耕之介	写真家、あおやよーいドン！まちづくりの会代表	委 員
6	神手 健	サーフィングクラブ アラカイ	
7	徳田 京子	青谷高校教諭 (青谷学担当)	

青谷高等学校活性化を支援する会 卓球部会名簿

	氏 名	備 考	付 記
1	高橋 克己	青谷地域振興会議会長	委 員
2	山根 敬一	鳥取県卓球連盟副会長	
3	美濃 恭介	青谷町支部卓球協会理事	
4	奥谷 吉男	青谷地域振興会議委員	
5	濱江 和恵	青谷地域振興会議委員	委 員
6	大谷 拓	青谷地区まちづくり協議会健康体育部会長	委 員
7	寺垣 智文	青谷高校教諭 (卓球部顧問)	

平成29年度 青谷高等学校活性化を支援する会 事業計画

	事業内容等	時期
支援する会 (全体会)	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回程度開催 ・『支所だより』での活動紹介(支援する会、学校活動) 	
地域連携部会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業「青谷学」への協力、支援 *授業(ワーキング)への地域アドバイザー協力 ・青谷高校と保育園、小中学校、大学との連携活動支援 ・西部地域の各種イベントへの青谷高校生の参画、ボランティア活動の推進協力 	随時 *ワーキング:11月~12月(週1回)
卓球部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「卓球のまち 青谷」復活のための活動 :小中学生、地域住民への卓球の普及活動 青谷高校卓球部の強化活動 ・「青谷高校卓球部、卓球部OBによる卓球教室」 (同実行委員会主催)の取り組み:小中一般を対象 ・「青谷オープン卓球」(同実行委員会主催)への協力:県内外中学校対象 	8月27日 11月18日、19日
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度青谷高校創立70周年に向けた取り組み 	

青谷高等学校活性化を支援する会規約

(目的)

第1条 鳥取県立青谷高等学校（以下「青谷高校」という。）は、青谷地域はもとより、鳥取市西部地域の今後の活性化の観点からも必要不可欠な地域資源である。この会は、青谷高校の特色ある教育活動を支援するとともに、地域課題の解決に向けて、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を行い、もって青谷高校の活性化に繋げることを目的とする。

(名称)

第2条 この会の名称は、青谷高等学校活性化を支援する会（以下「支援する会」という。）とする。

(組織)

第3条 支援する会は、地域住民、行政関係者、青谷高校関係者等からなる委員で組織する。

2 支援する会に顧問を置くことができる。

(事業)

第4条 支援する会は、青谷高校の特色ある教育活動を支援するとともに、地域課題の解決に向けて、地域と青谷高校の連携を深めるための活動を行う。

(専門部会)

第5条 事業を実施するため、次のとおり専門部会を置く。

(1) 地域連携部会

- ・「青谷学」等、地域資源、人材を活かした教育活動の支援を行う。
- ・保育所、学校との連携活動を支援する。
- ・地域イベント等への青谷高校生の参画、ボランティア活動の推進協力を行う。

(2) 卓球部会

- ・「卓球のまち 青谷」復活のための活動を行う。
- ・青谷高校の伝統である卓球を活用した取り組みを行う。

2 専門部会は、部会員で構成され、まとめ役として部会長を置く。部会長は、部会員の互選により選出される。

3 必要に応じて、専門部会を新たに置くことができる。

(事務局の所在地)

第6条 支援する会の事務局は、青谷町総合支所地域振興課内に置く。

(役員)

第7条 支援する会に会長1名、副会長2名以内を置く。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたときまたは事故ある時は、職務を代理する。

4 会長、副会長は、支援する会委員の互選により選出する。

(会議)

第8条 支援する会の会議は、会長がこれを招集し、会議の議長となる。

2 会議は、支援する会委員をもって構成する。なお、各専門部会から、委員を若干名選出するものとする。

(補則)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は支援する会において定める。

附則

この規約は、平成29年9月27日から施行する。